

新開成中学校再編準備委員会 第3回総務部会

日時 令和4年10月4日(火) 午後7時から

場所 大野市役所 本庁舎 第1・第2会議室

1 あいさつ

2 議事

(1) 中学生が参加する地域行事と学校行事との調整について

(2) 統合事業について

(3) 閉校式について

(4) 学校跡地、空き校舎について

(5) その他

3 その他

| 地区名 | 開催予定時期 | | 名称 | 場所 | 依頼方法 | | | | | 依頼内容 | 趣旨 | 備考 |
|-----|--------|----------|------------------------------|------------|------|-----|------|------|------|------------------------------------|--|---|
| | 月 | 日など | | | 学校 | 部活動 | リエゾン | 地区団体 | 集落 | | | |
| 大野 | 7~8 | | 中学生への公民館解放事業 (夏休み期間中) | 全公民館 | 案内 | | | | | 公民館開放の周知 | | |
| | | | 開成中学校ジュニアリーダー活動 | | | | | ○ | | | | 未定 |
| 下庄 | 7 | 最終日曜日 | 木瓜川クリーンアップ作戦 | 木瓜川緑地 | 清掃 | | | | | 木瓜川緑地の草刈り、木瓜川の清掃 | 地区内を流れる川の清掃活動を通して、地区に親しみを持ってもらう。 | 自然部やボランティア委員会に特定せず、生徒全体への依頼。ボランティア参加人数は多いほど助かります。参加人数は例年20名程度協力いただいている。 |
| | 8 | 第1日曜日 | 木瓜川ダックレース | 木瓜川緑地 | 運営 | | | | | ゴールしたダックの回収、順位付け | 地区内を流れる川を活用したイベント運営を通して、地区に親しみを持ってもらう。 | 自然部やボランティア委員会に特定せず、生徒全体への依頼。ボランティア参加人数は多いほど助かります。参加人数は例年20名程度協力いただいている。 |
| | 9 | 第4日曜日 | 下庄地区体育大会 | 下庄小学校 | 競技役員 | 吹奏楽 | | | 選手 | 開会式での吹奏楽部による演奏、競技補助員 | 体育大会全体を盛り上げるため、開会式で入場行進等を演奏する競技補助員として大会の運営に携わること、世代を超えた地区住民との交流地区が囃られ、連帯感や生徒の自尊心(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 選手については分団や集落の大人から参加を依頼する。吹奏楽については、吹奏楽部に依頼したい。競技補助員については、特定の部などへの依頼ではなく生徒全体へ10名程度依頼したい。 |
| | 10 | 第2日曜日 | 敬老会 | 下庄公民館 | 運営補助 | | | | | 敬老会運営のお手伝い | 多年にわたり社会につくしてきた地区の高齢者の長寿を祝う行事に参加し、お年寄りを敬愛する心を醸成する。 | 特定の部などへの依頼ではなく生徒全体へ10名程度依頼したい。 |
| | 10 | 第3日曜日 | 下庄まつり | 下庄公民館 | 運営補助 | | | | | 会場内運営のお手伝い | 地区イベントを通じて、世代を超えた地区住民の交流と地区への愛着心醸成する。 | 特定の部などへの依頼ではなく生徒全体へ依頼。例年10名程度協力いただいている。 |
| 乾側 | 7 | 下旬 | 夏休み体験教室 | 乾側公民館 | | | | | | | | 小中学生で参加募集予定(昨年度中学生参加者0) |
| | 8 | 下旬 | 地域課題解決にかかる取り組み | 乾側公民館 | | | | | | | | 中学生以上で参加募集予定 |
| | 9 | 最終日曜日 | 乾側地区体育大会 | 旧乾側小学校体育館 | 運営補助 | | | | 選手 | 各地区選手、運営ボランティア | 本大会は地区対抗であるため、地区選手として参加できるのであれば参加してほしい。中学生対象の競技はないが、一般選手として出場できる。地区をあげての行事であるため、数少ない子どもたちが参加することで、地区内の連帯感、地区への愛着心生まれる。 | 毎年開成中学校に3名程度の運営ボランティアの参加を依頼している。(乾側地区生徒に頼っていない。)中学生年代のボランティア精神を醸成するため。 |
| | 5 | 上旬 中旬 | 醍醐寺交流事業 | 旧乾側小学校プール横 | 参加者 | | | | | 田植え(5月下旬) 稲刈り(10月上旬) | 旧乾側小学校が実施していた事業を地区団体(乾側をよくする会)で継承している事業であり、対象者が少なくなってきた現状、中学生にも参加を依頼している。現中学生は小学校時代に経験していることから、取り組みやすい事業であり、地区で実施している行事に参加することで、地区への愛着心生まれる。 | 自由参加 |
| | 6 | 第1日曜日 | 小山地区バレーボール大会 | エキサイト広場 | 運営補助 | | | | | 地区対抗バレーボール競技の運営補助 | 各集落から代表チーム参加し、地区総出で参加、運営にあっており、地区の連帯感や愛着心などを醸成する。 | 選手としての中学生参加は不可。運営補助(バレーボール部員を中心に5人程度)は学校の協力を仰ぎたい。 |
| 小山 | 6 | 26 | 市民スポーツ大会陸上の部 (競技参加、補助員参加) | 奥越ふれあい公園 | | | | | | | | |
| | 9 | 25 | 小山地区体育大会 (競技参加、補助員参加) | 小山小学校グラウンド | 運営補助 | | | | 選手 | 分団対抗体育大会への参加及び運営補助 | 分団対抗体育大会の競技に参加するとともに、競技進行の補助及び景品の配布にあたること、地区の連帯感や愛着心などを醸成する | 選手は分団からも依頼する。学校の協力(運営補助員及び選手として参加を依頼するチラシの配布)を仰ぎたい。 |
| | 10 | 16 | 小山ふれあいまつり | 小山公民館 | 運営補助 | | | | 運営補助 | 模擬店の補助作業 | まつりを盛り上げるため、地区内団体が模擬店(5店程度)、練日、抽選会などを運営しており、その作業補助を依頼している。まつりの運営に携わること、生徒の自尊心(大人からの頼りにされる)、地域への愛着心などを醸成する。 | 公民館報でも周知に努めるが、学校からの呼びかけもお願いしたい。 |
| 上庄 | 5 | 中旬 | 上庄中ジュニアリーダー | 上庄中学校 | | | | | | | | 生涯学習課募集 |
| | 6 | 第1日曜日 | 上庄地区球技大会 | 地区内各会場 | | | | | 選手 | 選手(参加対象となる競技あり) | 選手として参加することで、地区の連帯感や生徒の自尊心(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 日曜日の開催のため、選手は分団や集落の大人から参加を依頼する |
| | 8 | 第1日曜日 | 上庄夏まつり | 上庄公民館周辺 | 運営補助 | 吹奏楽 | ○ | | | 吹奏楽演奏 運営補助(ジュニアリーダー) | 夏まつりを盛り上げるため、吹奏楽部の演奏会を開催する。また、ジュニアリーダーが祭りを盛り上げる一員として運営に携わること、地区の連帯感や生徒の自尊心(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 吹奏楽については吹奏楽部に依頼(楽器運搬等は、当方で行う)運営補助(ジュニアリーダー)は学校を通じて依頼 |
| | 9 | 第4日曜日 | 上庄地区体育大会 | 上庄小学校 | 競技役員 | 吹奏楽 | ○ | | 選手 | 開会式での吹奏楽演奏 競技役員(ジュニアリーダー) 選手 | 体育大会全体を盛り上げるため、開会式で入場行進等を演奏する競技役員として大会の運営に携わるとともに、選手として参加することで、地区の連帯感や生徒の自尊心(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 日曜日の開催のため、選手については分団や集落の大人から参加を依頼する。吹奏楽については吹奏楽部に依頼(楽器運搬等は、当方で行う)競技役員(ジュニアリーダー)については学校を通じて依頼 |

| 地区名 | 開催予定時期 | | 名称 | 場所 | 依頼方法 | | | | | | 依頼内容 | 趣旨 | 備考 | |
|-----|--------|-------------|-------------------------------|--------------------------|------|-----|----------|------|----|------------|---|--|--|--|
| | 月 | 日など | | | 学校 | 部活動 | ジュニアリーダー | 地区団体 | 集落 | その他 | | | | |
| | 10 | 第1日曜日 | 上庄地区敬老会 | 上庄小学校 | 運営補助 | 吹奏楽 | ○ | | | | 吹奏楽演奏準備・後片付け等の補助(ジュニアリーダー) | 敬老会を盛り上げるため、吹奏楽部の演奏会を開催する 地区の高齢者を敬う催事に参加し、地区の連帯感や生徒の自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 吹奏楽については吹奏楽部に依頼(楽器運搬等は当方で行う)については学校を通じて依頼 | |
| | 12 | 下旬 | 上庄地区子ども育成会連絡協議会共催 ふるさとかるた地区予選 | 上庄公民館 | 運営補助 | | ○ | | | | 運営補助(ジュニアリーダー) | 小学生対象のかるた大会の運営に携わり、生徒の自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 運営補助(ジュニアリーダー)は学校を通じて依頼 | |
| 富田 | 8 | 第1日曜日 | とみた夏まつり | 富田公民館 | ○ | ○ | | | | | 催し物(吹奏楽部、文化系の部活動) | 地区の夏まつりに参加することで、地区の連帯感や生徒の自主性や自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 依頼先は夏まつり実行委員会で決定 | |
| | 10 | 第2日曜日 | 富田地区体育大会 | 富田小学校グラウンド | | | | | | 競技役員 選手 | 競技の補助員、選手 | 補助員として大会の運営に携わるとともに、選手として参加することで、地区の連帯感や生徒の自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する | 日曜日の開催のため、競技役員と選手については分回や集落の担当から依頼する。今後開催予定の富田地区スポーツ協会理事会で、令和6年度から開催日を現状の10月第2日曜日から9月第4日曜日に変更し、他地区に合わせる方向で語る。 | |
| | 12 | 中旬 | 親子クリスマス会(富田母子育育会主催) | 富田公民館 | | | | | | | | | | ジュニアリーダー |
| | 12 | 下旬 | ふるさとかるた富田地区予選 | 富田公民館 | | | | | | | | | | ジュニアリーダー |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 阪谷 | 7 | 夏休み平日 初日 | さかだにラジオ体操のつどい | 阪谷小学校 | 参加 | | | | | | | | | 現状では中学生にも参加を呼び掛けている(強制なし)だけなので、主催者で作ったチラシ等を配布していただけるのならありがたいですが、そうでなければ、全戸配布等に対応します。 |
| | 8 | 第1土曜日 | 阪谷夏まつり | 検討中(※スターランドさかだに、公民館駐車場等) | 運営補助 | | | | | | 企画内容の検討と実施(過去には子供向けの「水鉄砲バトル」などを運営)、地区への愛着心などを醸成する。一つ一つの企画を自分達で企画し実施することにより、企画力等を養う。 | 地域の夏祭りの盛り上げスタッフとしてイベントの運営に携わることにより地区の連帯感や生徒の自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する。当日準備などの手伝い | 夏まつりの内容自体を検討中。(令和2年度からコロナにより中止) | |
| | 10 | 上旬日曜日 | 阪谷地区総スポ 陸上競技会 | 阪谷小学校 | | | | | | 競技役員 | | 現状では当日スタッフ協力してもらえる生徒に当日来てもらって手伝ってもらっている(任意、特に事前に役割等は当日お手伝い的に協力)。学校側で参加を促してもらえれば、ありがたいが、そうでなければ、全戸配布等で他の方法での呼びかけを検討します。 | 現状では当日スタッフ協力してもらえる生徒に当日来てもらって手伝ってもらっている(任意、特に事前に役割等は当日お手伝い的に協力)。学校側で参加を促してもらえれば、ありがたいが、そうでなければ、全戸配布等で他の方法での呼びかけを検討します。 | |
| 五箇 | | | 該当する行事無し | | | | | | | | | | | ※地区内の中学生 0人 |
| 和泉 | 7 | 16 | 七夕のつどい | 和泉地域交流センター | | | | | | | | | | 子供対象行事 |
| | 7~8 | | ラジオ体操 | 地区内集落 | | | | | | | | | | 子供・老人クラブ |
| | 8 | 14 | ふるさと夏まつり | 和泉地域交流センター | | | | | | | | | | 通常は9月14日、今年度は未定 |
| | 9 | 第2日曜日 | 地区敬老会 | 和泉小中学校体育館 | | | | | | 運営補助 | 運営スタッフ | 敬老会の運営に携わること、長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬い、長寿を祝福し、高齢者を大切にすることを育てる。 | 日曜日の開催のため、開催団体(和泉自治会)から参加を依頼する。 | |
| | 9 | 10~11 | 和泉いきいき発表会 | 和泉小中学校体育館 | | | | | | | | | | 中学校文化祭(10日)と地区敬老会(11日)に会場で保育園・小中学校・地区民の作品を合同で展示 |
| | 10 | 第1日曜日 | 和泉合同体育大会 | 和泉小中学校グラウンド | | | | | | 競技役員 | 選手 | 選手、競技役員(検討) | 中学生が、地区の部で選手として参加することで、地区の連帯感や生徒の自尊感情(大人からの頼りにされる)、地区への愛着心などを醸成する。また、競技役員等として参加し運営に携わること、(特に学校の部の競技運営)母校への想いや地元の先輩・後輩との仲間意識を深められる。 | 日曜日の開催のため、競技役員と選手について集落から参加を依頼する。競技役員は、体育大会実行委員会からの依頼。保育園・学校・地区の合同開催 |

統合事業について

1 統合事業の趣旨

学校の統合に当たり、学校の歴史を振り返り、地区への愛着の気持ちを深め、学校の記録と記憶を残す。

2 事業の実施主体

実施の要否を地区内で決定する。

地区住民（保護者、各種団体等）、学校で実行委員会を設置する。

3 経費

大野市小学校再編支援事業補助金交付要綱で、補助率を2分の1としている。

中学校の再編に際しても、この要綱に準じて補助を行うこととしたい。

4 事業の内容

内容は、実行委員会で協議し決定する。

○ 旧乾側小学校の例（令和3年3月28日（日））

記念誌の発刊、記念碑の設置

イベントの実施

記念碑除幕式、学校の歴史を振り返るスライドショー

さいご（最後）の登校日（写真展示、黒板アート、給食試食など）

※さいごの登校日は、乾側をよくする会が主催

○ 旧蕨生小学校の例（平成24年3月24日（土））

記念誌の発刊、記念碑の設置、除幕式、写真展示

○ 旧森目小学校の例（平成22年3月28日（日））

記念誌の発刊、記念碑の設置、除幕式

謝恩会（児童の学習発表、太鼓演奏、アトラクション、飲食あり）

閉校式について

1 閉校式の趣旨

学校の統合に当たり、学校の歴史を振り返るとともに、厳粛に学校を閉じる。

2 主催者

大野市、大野市教育委員会

3 閉校式の内容

(1) 次第

国歌斉唱、式辞、告辞、お別れのことば（校長、PTA代表、生徒代表）

記念品贈呈、校旗返還、校歌斉唱

※乾側小学校のときは、学校が記念品を選定した。

(2) 日程

卒業式、修了式が終わった、日曜日の午前中に挙行了た。

(3) 来賓

歴代学校長、県議会議員、地元選出市議会議員、区長、関係団体の長

校区内小学校長

4 その他

これまでの学校では、式典終了後に、実行委員会主催の統合事業を実施した。

第3回総務部会の論点整理

(1) 中学生が参加する地区行事と学校行事との調整について

到達点 再編後に中学生が、居住している地区の行事に円滑に参加できる

- ・ 公民館で再検討した内容を、学校に提示した（別紙資料）
- ・ 要請を受ける地区が増えることで、学校の対応が煩雑にならないか
- ・ 学校はどの程度までなら、協力できるのか（前回の発言を再度確認）
- ・ 年間の行事予定の共有（例：学校→地区→学校）

(2) 統合事業について

到達点 閉校する学校区で、学校の歴史を振り返り記憶に残す

- ・ 統合する際の事業を実施するかどうか

(3) 閉校式について

到達点 学校の閉校を厳粛に執り行う

- ・ これまでの例と主催者の確認

(4) 学校跡地、空き校舎について

到達点 閉校する学校の跡地、空き校舎を有効活用する

- ・ 第2回部会以降に、各地区などで話し合われた内容の報告
- ・ 地区での検討だけでなく、市や教育委員会も活用策を検討して地区と一緒に考えていく必要がある

※ 以上の点について、必要があれば各選出団体等で事前に協議の上、部会で

ご意見くださいますようお願いいたします。